

第1回  
篠山市原子力災害対策  
検討委員会  
説明資料

平成24年10月24日

篠山市

# 内容

1. 東日本大震災の被害概要
2. 国・県の動き
3. 篠山市の現状と背景

# 1. 東日本大震災の被害概要

- 広域にわたる大規模な複合災害の発生  
地震災害、津波災害、**原子力発電所事故**
- 庁舎被災による災害対策本部機能喪失  
自治体職員被災によるマンパワーの低下、  
長期にわたる情報収集、伝達機能やライフ  
ライン機能の不全
- 交通網の寸断による流通機能喪失  
道路網の破壊、燃料や小型車不足で物資の配  
送停滞、医薬品不足

# 1. 東日本大震災の被害概要

## ■人的被害

死者 15,868名、行方不明 2,847名、  
負傷者 6,109名

## ■建築物被害

全壊 129,340戸、半壊 264,035戸、  
一部破損 726,089戸

## ■全国の避難者数

343,334名（避難所のほか、親族、知人宅  
や公営住宅、仮設住宅等への入居者も含む）

※平成24年8月28日現在 政府緊急災害対策本部公表値より

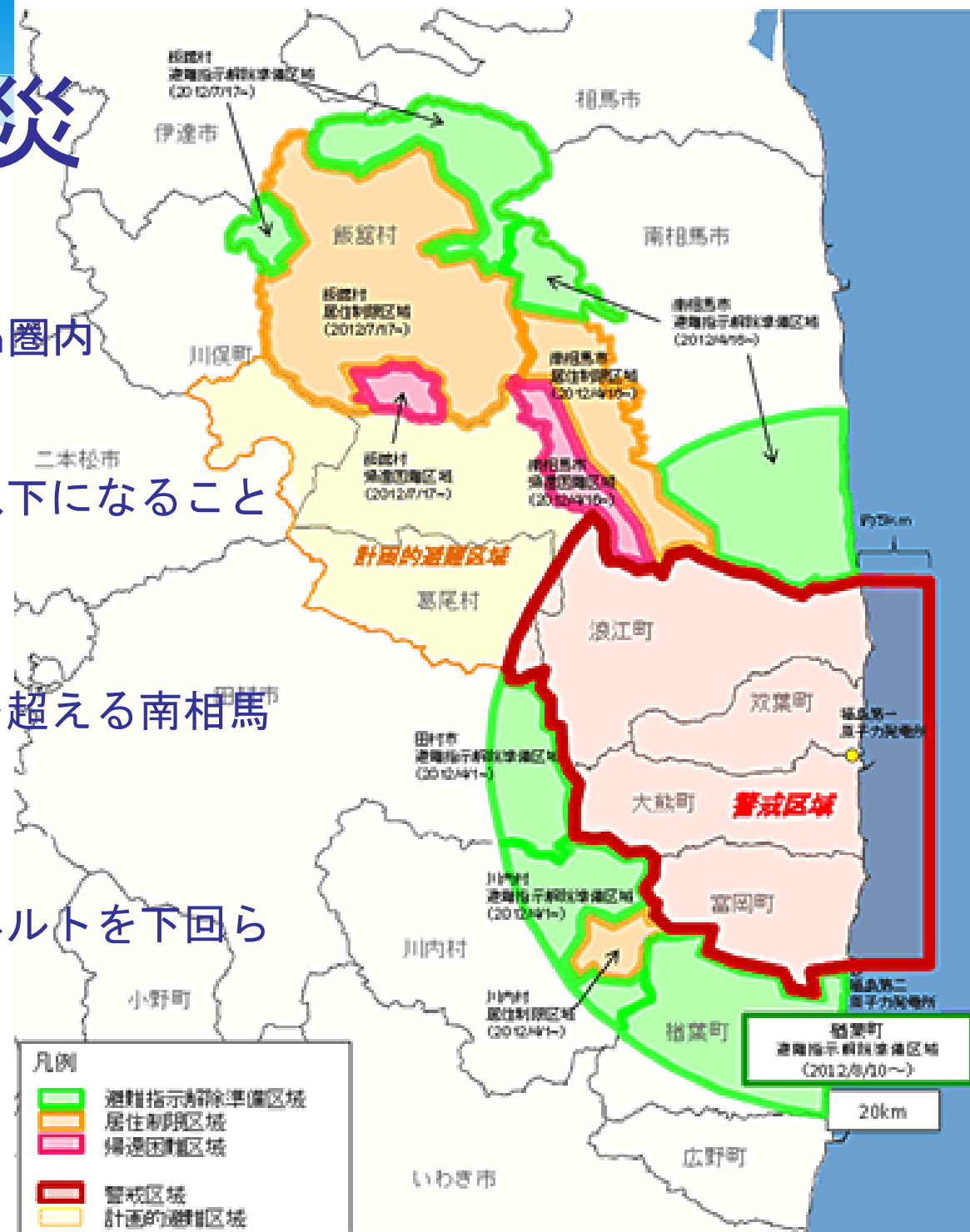
# 1. 東日本大震災の被害概要

「警戒区域」・・・原発から20km圏内

「避難指示解除準備区域」・・・  
一年間の積算線量20ミリシーベルト以下になることが  
確実である楢葉町、川内村など

「居住制限区域」・・・  
一年間の積算線量20ミリシーベルトを超える南相馬  
市及び飯館村の一部など

「帰還困難区域」・・・  
今後5年間を経過しても20ミリシーベルトを下回ら  
ない南相馬市及び飯館村の一部



※引用：福島県ホームページより

## 2. 国・県などの動き

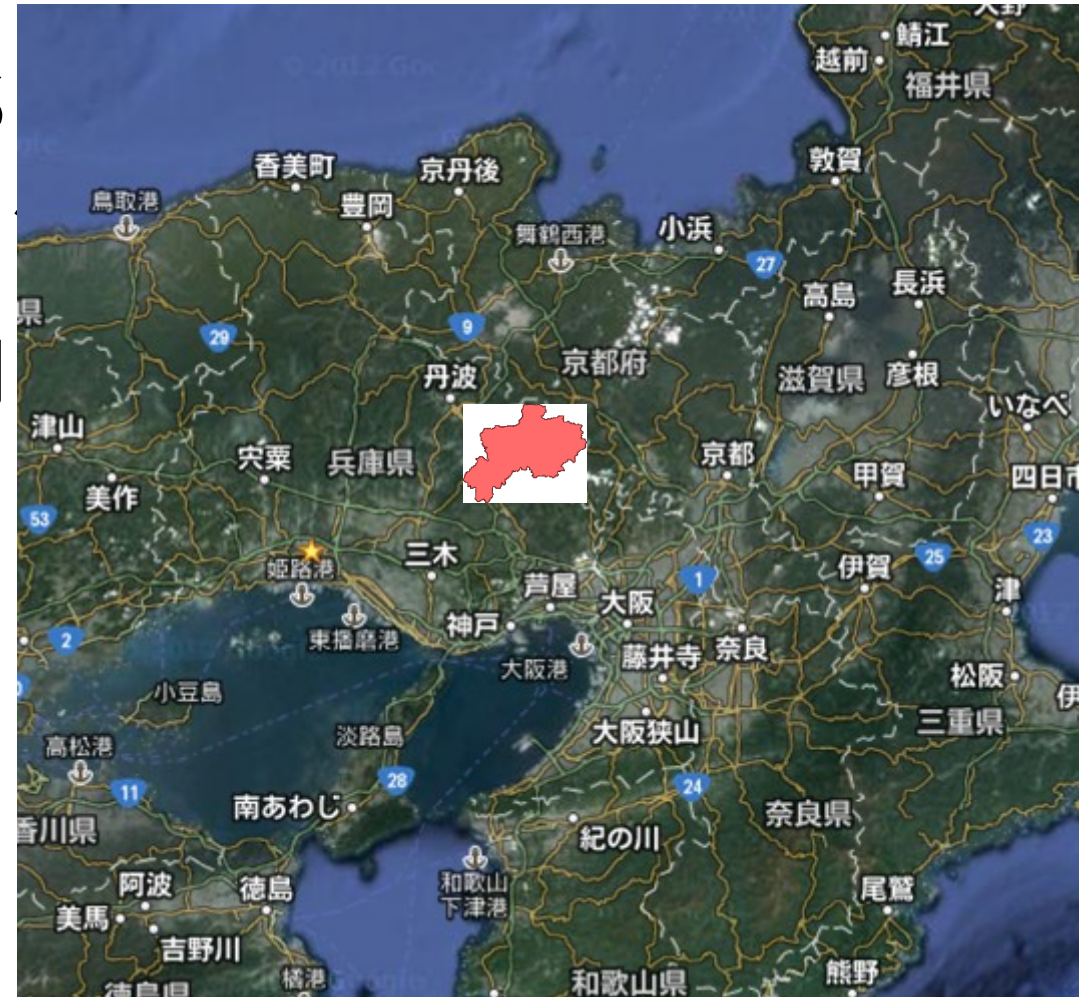
国（原子力規制委員会）は原子力防災指針の見直しを進めている（H24中予定）。

関西広域連合は、H24度中に、防災計画の見直しを進めている（H24度中予定）。

県は、地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しをH25度から着手予定。

### 3. 篠山市の現状と背景

兵庫県の中東部に位置し、北部には山岳を中心とする多紀連山、南部には深山山地が走り、この両山地に囲まれて篠山盆地が開けている。  
東部は、京都府、大阪府に接している。



### 3. 篠山市の現状と背景

#### 人口・世帯数

| 総数     | 人口 男   | 人口 女   | 世帯数    |
|--------|--------|--------|--------|
| 43,263 | 20,616 | 22,647 | 15,342 |

(平成22年国勢調査より)

面積 377.61km<sup>2</sup>



### 3. 篠山市の現状と背景

#### 【活断層分布】

市域に御所谷断層  
市周辺には三峠断層、  
上林川断層、山崎山層の  
存在が確認されている



市直下の御所谷断層では、震度6強の想定が  
されている。

(死者26人、全壊425棟、避難者2,507人)

### 3. 篠山市の現状と背景

#### 【原子力施設との位置関係】

市から最も近い原子力施設は高浜原発です。

距離は43kmの位置  
にあります。

50km圏内には概ね  
2600人が居住して  
います



### 3. 篠山市の現状と背景

- ・市の地域防災計画では、原子力発電所施設での事故は想定していない。
- ・核燃料物質の運搬事故を想定した、防災計画を策定している。